



CASBEE大阪 OF THE YEAR 2006 顕彰建築物(1)

ダイヤモンドシティ・リーファ

所在地：鶴見区鶴見4丁目

主用途：物販店

事業者：(株)ダイヤモンドシティ・三菱UFJ
信託銀行(株)

設計者：清水建設(株)

〔建築概要〕

延床面積：149,202.60㎡

階数：地上5階 地下1階

構造：鉄骨造

竣工：平成18年11月

〔CASBEE大阪における評価〕

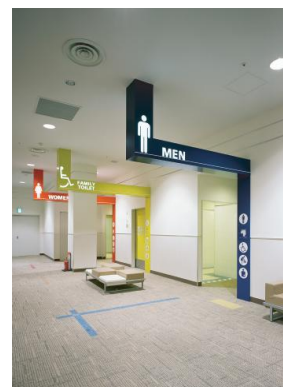
サステナビリティランキング：A

建築物の環境性能効率(BEE)：2.1

〔顕彰理由〕

4層にわたる大規模な吹き抜け空間が開放的な印象を与えるショッピングセンターである。人と環境への配慮を計画のテーマに、多機能でゆとりあるトイレやわかりやすいサイン計画などユニバーサルデザインを導入し、利用者にやさしい建築物となるよう配慮されている。

また、大規模氷蓄熱システムの採用によりCO₂の排出削減を図るとともに、地域の植生を考慮した緑地計画、保水性インターロッキングブロックによる歩行者通路の舗装などのヒートアイランド対策を行っている。そのほかゴミの分別収集の徹底、再生建材の使用など環境負荷を低減する取組も充実している。





CASBEE大阪 OF THE YEAR 2006 顕彰建築物(2)

大阪弁護士会館

所在地：北区西天満1丁目

主用途：事務所

事業者：大阪弁護士会

設計者：(株)日建設計

〔建築概要〕

延床面積：17,037.21 m²

階数：地上14階 地下2階

構造：鉄骨造

竣工：平成18年7月

〔CASBEE大阪における評価〕

サステナビリティランキング：A

建築物の環境性能効率(BEE)：1.9

〔顕彰理由〕

平面的に高いフレキシビリティを確保するとともに環境へ配慮された建築物である。執務空間では、きめの細かい空調設定、健康上安全性の高い建材などが採用されている。省エネルギー対策として、太陽光発電パネルの屋上設置や日射を遮る深い庇、クール・ヒートチューブによる空調負荷の低減、人感センサー・照度センサーによる照明制御などを行っている。

また、屋上庭園を含む敷地の20%を超える緑化はヒートアイランド対策として高く評価される。地下1階に制振構造が採用され、地震に対する安全性の向上とともに荷重負担の軽減により既存の地下躯体の再利用が可能となった。

